

少人数学級の実現を求める意見書

学校現場では、いじめ、不登校など様々な困難を抱える子どももあり、一人ひとりの子どもとじっくり向き合い、悩みに耳を傾け、個別の指導をすることが大切である。

コロナ禍の中で、子どもも学校も多くの心配と不安を抱えている。新型コロナウイルス感染症防止の観点から、学校教育の現場では身体的距離の確保が必要とされている。しかし、多人数の教室では「密集状態」となっているのが現状であり、これを避けるためには少人数学級にする必要がある。

また、現場からは、少人数学級の実現の要望が強く出されており、それに伴う教職員定数の改善、財源確保は必要不可欠となっている。

7月3日には、全国知事会・全国市長会・全国町村長会は、連名で政府に「少人数編制を可能とする教員の確保」を要望している。

また、来年度予算編成にあたって、少人数学級に踏み出す予算措置の実現について、教育関係者から強い期待が寄せられている。

こうした状況を踏まえて、下記の措置を講じられるよう強く要望する。

記

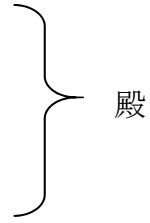
- 1 安全・安心で、行き届いた教育実現につながる少人数学級を速やかに実現すること。
- 2 少人数学級実現のため、教職員の定数改善並びに教職員確保に向けた環境整備のための財源を確保すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年12月23日

豊岡市議会

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
文部科学大臣



殿